

アクティベーションできない環境による ライセンスファイルでのアクティベーション方法

【目次】

1. ActiveImage Protector 2022-RE におけるアクティベーションについて 2
2. アクティベーションできない環境によるライセンスファイルでのアクティベーション方法 4

※ 本書中の社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

1. ActiveImage Protector 2022-RE におけるアクティベーションについて

製品インストール後、アクティベーションに成功しないと一定期間経過後にバックアップ等の操作ができなくなります。

そのため、次の方法でアクティベーション（認証）を行う必要があります。

- 開発元ライセンスサーバーへ接続するオンライン認証
- ライセンスファイル認証（インターネット未接続環境）
- Actiphy Authentication Service（AAS）認証（Virtual：インターネット未接続環境）



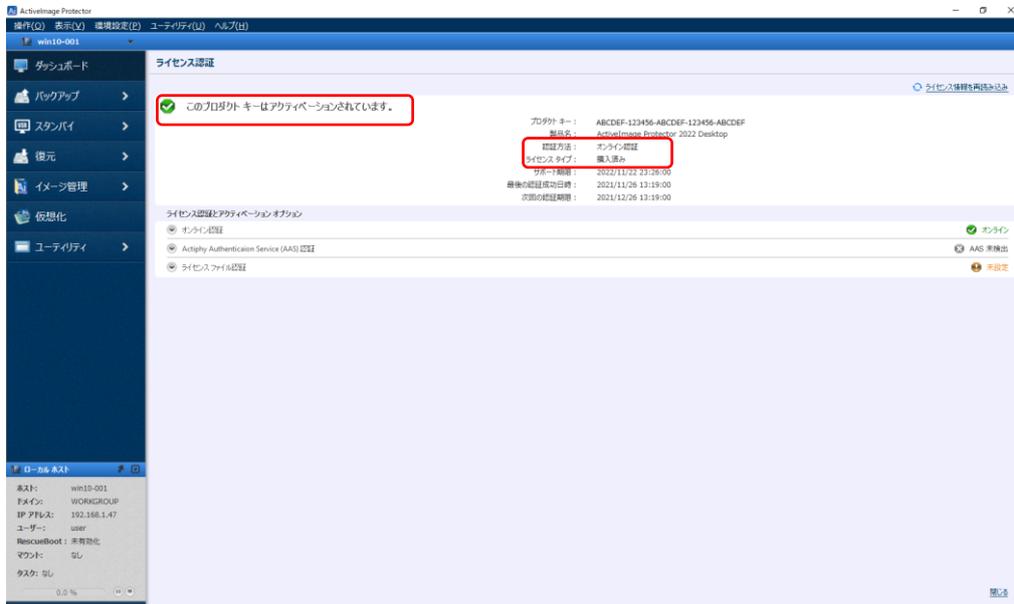
アクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です（オンライン認証にてアクティベーション処理を行います）。



インターネットに接続している場合、アクティベーションは以下のタイミングで自動的に実行されます。（開発元ライセンスサーバーへ接続するオンライン認証）

- システム起動から 3 分経過
- 最後のアクティベーション実行から 1 日経過（Server では 1 時間経過）

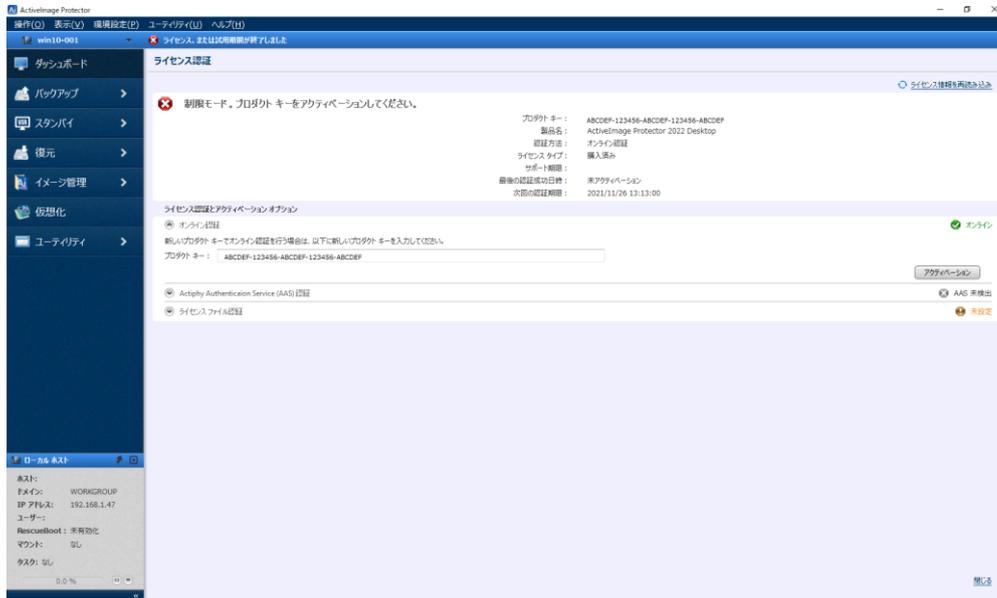
アクティベーション状況については [ヘルプ] メニューの [ライセンス] から確認ができます。



ActiveImage Protector を起動するには、デスクトップに用意されたアイコンをダブルクリックするか、Windows の [スタート]メニューから [ActiveImage Protector] をクリックしてください。



トライアルキーの状態から製品キーに変更する場合は、[ヘルプ]メニューの[ライセンス]をクリックして表示される[ライセンス認証]画面の[オンライン認証]の▼をクリックして表示されるプロダクトキーに製品のプロダクトキーを入力して、[アクティベーション]ボタンをクリックします。



マシンの日付と時刻が正しい状態でないときは、アクティベーションすることができません。



Desktop はアクティベーションが成功するとライセンスを消費します。

Server はアクティベーションが成功してもライセンスは消費しません。

ローカル コンピューターのバックアップ(エージェント ベース バックアップ)タスクを作成するとライセンスを消費します。

または、HyperBack(エージェントレス バックアップ)タスクを作成すると、対象の仮想マシン 1 台ごとにライセンスを消費します。



永続ライセンスの場合は、[ライセンスタイプ]に「購入済み」と表示され、サブスクリプションライセンスの場合は、「サブスクリプション」と表示されます。

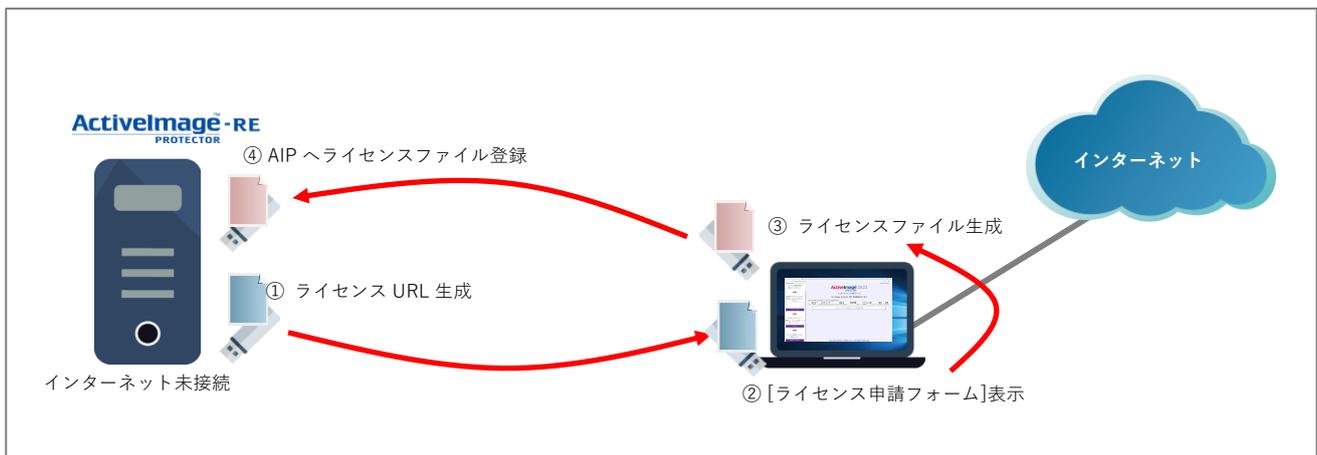
また、サブスクリプションライセンスの期間が切れた場合は、更新のライセンスはありません。新規でライセンスを再購入してください。

2. アクティベーションできない環境によるライセンスファイルでのアクティベーション方法

インターネットに接続しておらず、アクティベーションができない環境で Virtual 以外の ActiveImage Protector 2022-RE の場合は、ライセンスファイル認証でのアクティベーション処理となります。

《ライセンスファイルによるアクティベーション手順》

- ① インターネットに接続していない ActiveImage Protector 上でプロダクトキーとマシンを関連付けて用意されるライセンス URL を生成する
- ② インターネットに接続できる任意のマシン上で、①で生成されたライセンス URL を Web ブラウザで表示し、「ライセンスファイル申請フォーム」ページを表示する
- ③ 「ライセンスファイル申請フォーム」にて、使用するプロダクトキーのライセンス数を指定してライセンスファイルを生成する
- ④ 生成されたライセンスファイルを、インターネットに接続していない ActiveImage Protector へ登録する



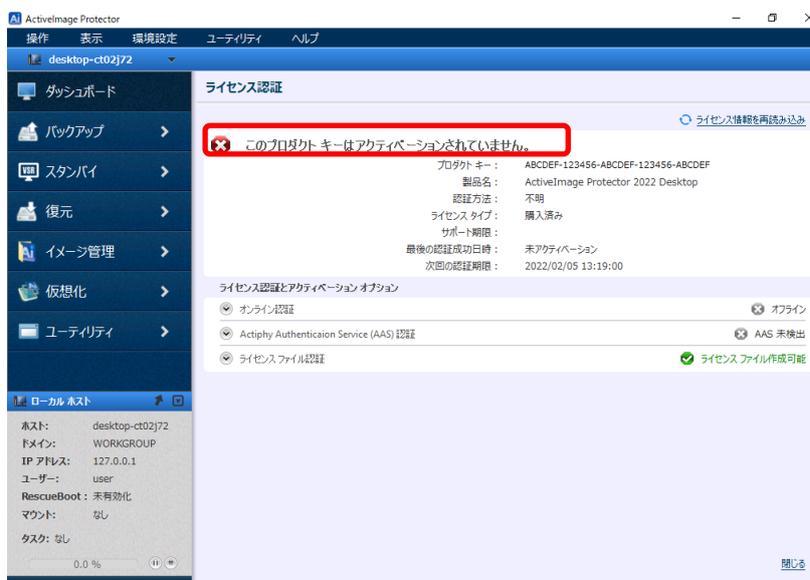
Virtual の場合は、Actiphy Authentication Service (AAS) 認証によるアクティベーションとなります。操作方法については、[「アクティベーションできない環境による AAS によるアクティベーション方法 \(Virtual\)」](#)をご参照ください。

アクティベーションできない環境によるライセンスファイルでのアクティベーション方法

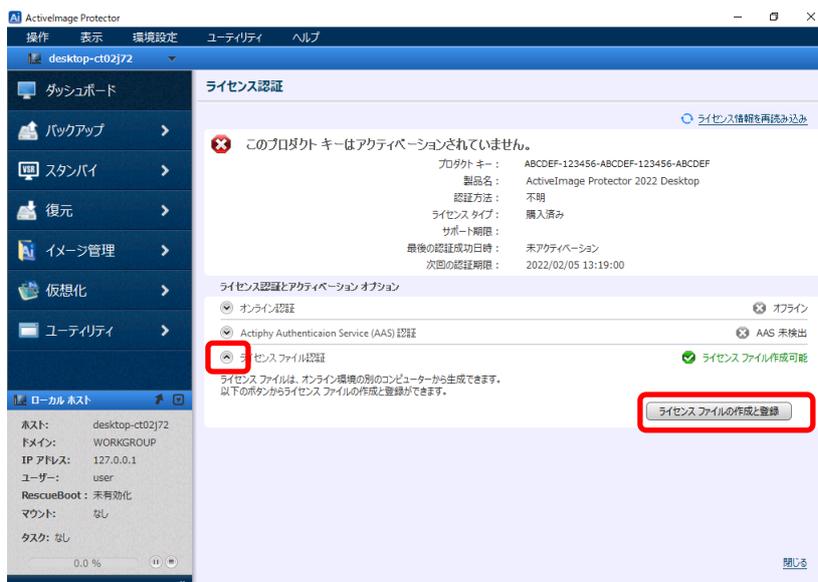
ライセンスファイル認証によるアクティベーションするは次のとおりです。

操作手順

- ① アクティベーションできていない ActiveImage Protector を起動します。
- ② [ヘルプ]メニューの[ライセンス]をクリックして、表示される[ライセンス認証]画面でアクティベーションされていないことを確認します。



- ③ [ライセンスファイル認証]の√をクリックして、表示される[ライセンスファイルの作成と登録]ボタンをクリックします。



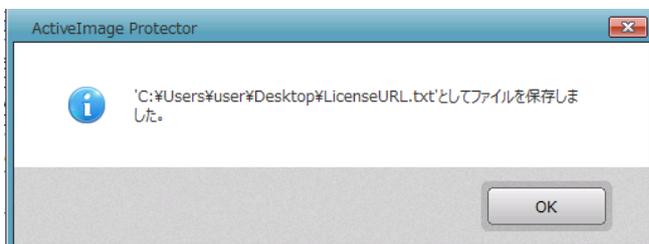
- ④ [ライセンスファイルの要求/インポート]ダイアログボックスで、[プロダクトキー]項目に正しいプロダクトキーが入力されていることを確認し、[URL を生成]をクリックします。



- ⑤ 下の枠にライセンス URL が生成されましたら、[ファイルに保存]をクリックします。



- ⑥ ライセンス URL のファイルを保存するフォルダーを指定するとそのフォルダーへ「LicenseURL.txt」としてファイルが保存されます。



- ⑦ ActiveImage Protector はいったん終了し、生成された「LicenseURL.txt」を USB メモリーなどにコピーして、インターネットへ接続できるマシンへファイルを持ち出します。

- ⑧ インターネットに接続できるマシンにて、「LicenseURL.txt」をメモ帳などで表示し、その URL をコピーして、Web ブラウザ上で表示します。
- ⑨ 表示された[ライセンスファイル申請フォーム]にて、後ほどライセンスファイルを送付するメールアドレスを入力して、[検証!]ボタンをクリックします。



- ⑩ アクティベーションする台数分のライセンスを[ライセンス数]部分の[追加割当]部分に指定して、[このバンドルにライセンスを割り当てる]ボタンをクリックします。

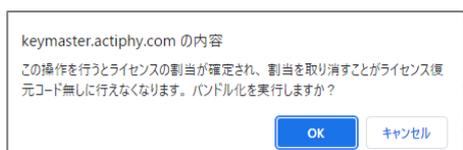


アクティベーションできない環境によるライセンスファイルでのアクティベーション方法

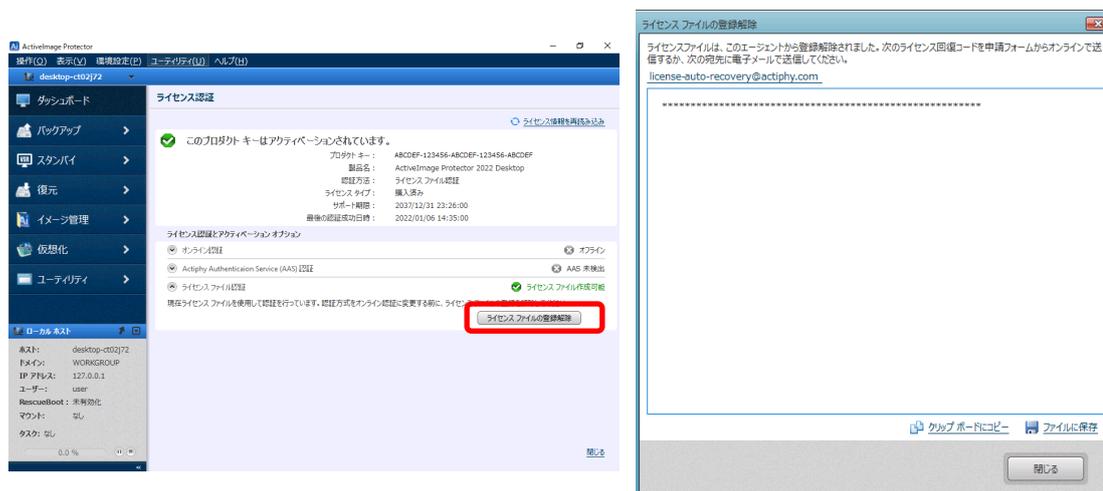
- ⑪ 一覧の左側が選択できる状態となりますので、そちらをクリックして、[バンドル化!]ボタンをクリックします。



- ⑫ 割当を行ったライセンスに対して割当を取り消すには、「ライセンス復元コード」が必要な旨のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



「ライセンス復元コード」はライセンスファイルを登録した ActiveImage Protector でその登録を解除する際に生成されます。



アクティベーションできない環境によるライセンスファイルでのアクティベーション方法

- ⑬ バンドル化ができましたら、[電子メールを送信！]ボタンをクリックします。

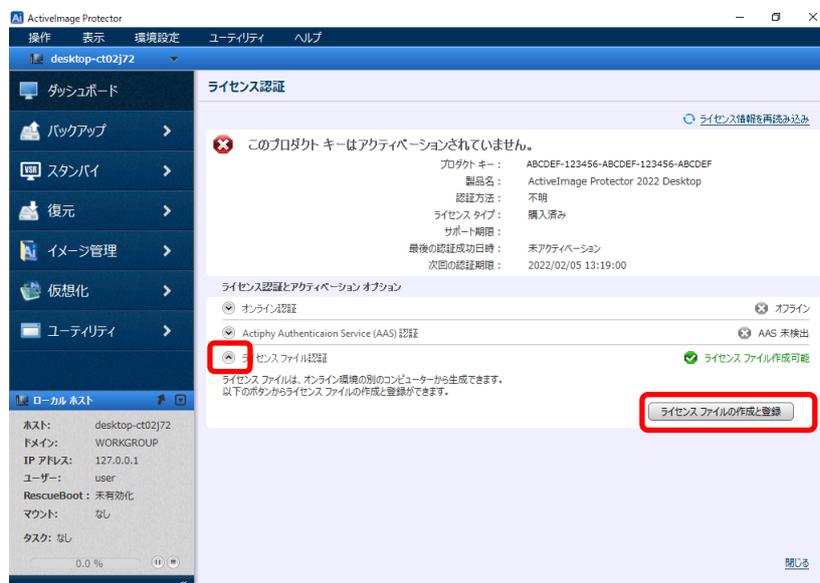


- ⑭ 指定したメールアドレスにライセンスファイル

「AIP-LicenseFile-*****_*****.aiplicensebundle」が添付されていますので、そのファイルをUSBメモリーなどにコピーして、ActiveImage Protectorのマシンへを持ち出します。

- ⑮ アクティベーションできていないActiveImage Protectorを起動し、[ヘルプ]メニューの[ライセンス]をクリックします。

[ライセンスファイル認証]の、をクリックして、表示される[ライセンスファイルの作成と登録]ボタンをクリックします。



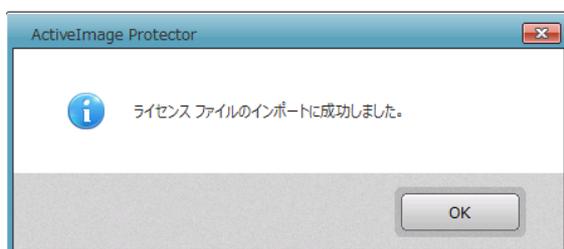
- ⑩ [ライセンスファイルの要求/インポート]ダイアログボックスで、[参照]ボタンをクリックして、ライセンスファイルを指定します。



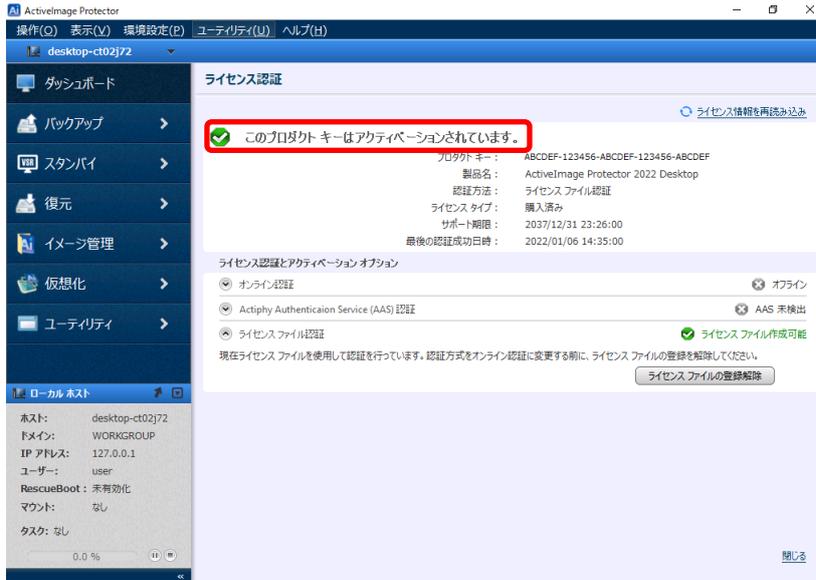
- ⑪ ライセンスファイルが指定されたことを確認し、[ライセンスファイルを登録]ボタンをクリックします。



- ⑫ 登録が成功したメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



⑱ [ライセンス認証]画面で、アクティベーションされたことを確認してください。



以上で、ライセンスファイル認証によるアクティベーションする手順は、終了です。



株式会社 ラネクシー®

URL : <http://www.runexy.co.jp>